

各 位

2022年9月12日
株式会社インプレス

パワーピボットとパワークエリで複雑なデータを分析&可視化！
『できる Excel ピボットテーブル Office 2021/2019/2016 & Microsoft 365 対応』を9月
14日（水）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、ピボットテーブルの基本から上級者向け機能まで網羅した書籍『できるExcelピボットテーブル Office 2021/2019/2016 & Microsoft 365対応』を2022年9月14日（水）に発売します。



■大量のデータをビジネスに活かせるピボットテーブル

Excelのピボットテーブルは、直感的な操作で集計表の内容を次々と変換でき、データ分析に有用な機能です。リストにまとめられたデータを「商品別の売上金額」「地域別の売上金額」といった用途に合わせて項目ごとに集計できます。データの羅列を「意味ある集計表」に変えるのがピボットテーブルです。

本書では、ピボットテーブルを初めて使う人にもわかりやすく、基本的な操作から丁寧に解説。また、大量のデータに対応する「パワーピボット」や、元データを簡単に整形できる「パワークエリ」などについても、使用例や活用のポイントを詳しく解説しています。操作できる練習用ファイルを提供しているので、実際にピボットテーブルを作ったり検証したりできます。

■基本編と活用編の2部構成でピボットテーブルをしっかりと理解

基本編では、元データの作り方からはじめ、ピボットテーブルの基本操作を詳しく説明。集計結果を項目別に掘り下げる「ドリルダウン」や、集計表の切り替えに便利な「スライサー」など、データ分析を効率よく行う機能もまとめています。活用編では、さらに進んだピボットテーブルのテクニックを解説。複数のテーブルをつなぎ合わせる「リレーションシップ」や、大量の元データをまとめて管理できる「パワーピボット」、テキストファイルやAccessのデータベースを直接読み込める「パワークエリ」など、仕事を効率化する強力な機能を紹介します。ピボットテーブルを駆使する上で必要な知識が、この1冊で無駄なく身につきます。

レッスン 02 ピボットテーブルとは何かを知らう

ピボットテーブル 練習用ファイル なし

「魔法の集計表」、それがピボットテーブル

膨大なデータを目で追って、そのデータの傾向や推移、数値の関係などを読み取ることは大変難しいことです。しかし、これをあつという間に実現できる機能がExcelには用意されています。それが「ピボットテーブル」です。ピボットテーブルを利用すれば、表の見出しを入力したり、複雑な数式を入力したりしなくても、簡単に集計表ができます。日々蓄積される売上データなどを、「商品別売上表」や「地区別月別売上表」などの集計表の形に瞬時に整えることができます。

関連レッスン
 レッスン03 ピボットテーブルの特徴を知らう p.28
 レッスン04 ピボットグラフの特徴を知らう p.30
 レッスン05 ピボットテーブルの各部の名称を知らう p.32

数式や関数を使わずとも簡単に集計表を作成できる

フィルター 並べ替え 関数 書式

ピボットテーブル

大量のデータを瞬時に集計できる

ピボットテーブルは、下の画面のように、売上明細表などの「リスト形式」のデータから集計表を作成します。このとき、集計表の項目名や数式などを入力する必要はありません。元のリストにある「日付」や「地区」などの項目を、集計表のどこに配置するのかが指定するだけで、その項目を含むデータの一覧が表になり、データの集計が自動的に行われます。

なお、ピボットテーブルの集計表は52ページから紹介するように、マウス操作だけで簡単に作成できます。ピボットテーブルを利用すれば、あつという間に大量のデータを集計表の形にまとめられるのです。

売上明細表のようなリストを用意する

売上明細表を見ても、各地区で年別にどれくらいの売りがあつたのかわからない

売上番号	明細番号	日付	顧客番号	販売店名	担当	地区	商品番号	商品名	販売金額	店名	数量
1	101	2022/1/1	K301	百貨商品の店舗	高橋幸治	東京地区	B101	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
2	101	2022/1/1	K301	百貨商品の店舗	高橋幸治	東京地区	C101	海鮮丼	魚介類	¥11,500	10
3	102	2022/1/1	K302	ふるさと土産	増田大樹	東京地区	B103	米寿し	魚介類	¥6,800	10
4	102	2022/1/1	K302	ふるさと土産	増田大樹	東京地区	B104	塩漬そば	魚介類	¥4,500	10
5	103	2022/1/1	K303	お取り寄せの家	池田潤子	九州地区	A101	塩漬そば	魚介類	¥6,800	10
6	103	2022/1/1	K303	お取り寄せの家	池田潤子	九州地区	A103	寿し	魚介類	¥5,200	10
7	104	2022/1/1	K304	スーパーお野	山川真	大阪地区	B104	塩漬そば	魚介類	¥6,800	10
8	104	2022/1/1	K304	スーパーお野	山川真	大阪地区	C103	餅のり	魚介類	¥10,800	10
9	104	2022/1/1	K304	スーパーお野	山川真	大阪地区	C102	鮎いり	魚介類	¥9,800	10
10	105	2022/1/1	K305	おのMARKET	厚木文	大阪地区	B101	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
11	105	2022/1/1	K305	おのMARKET	厚木文	大阪地区	B102	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
12	105	2022/1/1	K305	おのMARKET	厚木文	大阪地区	B103	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
13	106	2022/1/1	K306	全業グルメストア	田中啓介	東京地区	B101	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
14	106	2022/1/1	K306	全業グルメストア	田中啓介	東京地区	B102	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
15	107	2022/1/1	K307	毎日スーパー	鈴木幸	東京地区	A101	塩漬そば	魚介類	¥6,800	10
16	107	2022/1/1	K307	毎日スーパー	鈴木幸	東京地区	B102	物持ちば	魚介類	¥6,800	10
17	108	2022/1/1	K308	美味いもの屋	西島結衣	九州地区	B102	物持ちば	魚介類	¥6,800	15
18	108	2022/1/1	K308	美味いもの屋	西島結衣	九州地区	C101	海鮮丼	魚介類	¥11,500	10

売上明細表の「地区」データを元に、地区別の売上金額が集計される

売上明細表の「日付」データを元に、年別の売上金額が集計される

ピボットテーブルを利用すると、各や地区別の売上金額を簡単に集計できる

合計	列ラベル	九州地区	大阪地区	東京地区	総計
2022年		12684000	12956000	16195000	41835000
2023年		14454500	14934000	18881500	48270000
総計		27138500	27890000	35076500	90105000

基本編ではピボットテーブルの基礎から作成方法まで丁寧に解説

レッスン 76 Power Pivotでリレーションシップを設定するには

リレーションシップの設定 練習用ファイル L76_PPでリレーションシップ.xlsx

データ同士のつながりを明示する

レッスン72では、Excelからテーブル同士にリレーションシップを設定することで、テーブルのデータをデータモデルに追加しましたが、ここでは、Power Pivotから操作します。

Before フィールドがどれにつながっているかわからない

After [顧客]の[顧客番号]フィールドを[売上]の[売上番号]フィールドと関連付ける
 [商品]の[商品番号]フィールドを[明細]の[商品番号]フィールドと関連付ける

使いこなしのヒント
 ドラッグ操作でリレーションシップを設定できる
 テーブルをデータモデルに追加し、Power Pivotでリレーションシップを設定します。テーブルではなくリストをデータモデルに追加した場合、テーブルへ変換する画面が表示され、変換後にデータモデルに追加されます。上の [Before] の画面は、Power Pivotでリレーションシップを設定する画面です。[After] 画面は、リレーションシップ設定後の画面です。ドラッグ操作でリレーションシップを設定できます。

1 シートをデータモデルに追加する

1 「顧客」シート内のリストをクリック

2 [Power Pivot] タブをクリック

3 [データモデルに追加] をクリック

4 [ブックに切り替え] をクリック

5 [ダイアグラムビュー] をクリック

ダイアグラムビューが表示される

2 フィールドリストを並べ替える

1 [ホーム] タブをクリック

2 フィールド内をクリック

3 データ型が表示される

使いこなしのヒント
 テーブル名を設定しておく
 ここでは、「顧客」「商品」「売上」「明細」シートのテーブルにそれぞれテーブル名「顧客」「商品」「売上」「明細」という名前を付けています。テーブルをデータモデルに追加すると、Power Pivotの画面に、テーブル名と同じシート名が表示されて、そこにそのテーブルが表示されます。

使いこなしのヒント
 フィールドのデータ型について
 Excelのテーブルをデータモデルに追加すると、テーブルのデータを元に各フィールドのデータ型が自動的に認識されます。データ型を確認するには、次のように操作します。また、データ型の横の「▼」をクリックして、データ型を変更することもできますが、データの内容によっては、他のデータ型に変換できません。

活用編ではPower Pivotなどを使って仕事を効率化する方法を紹介

■電話・メールサポートなど読者サポートも充実

できるシリーズならではの特典として、専門のスタッフによる電話・メールなどの読者サポートが充実。各レッスンの練習用ファイルと、操作結果のファイルがダウンロードできるほか、実際の画面で操作手順を再現したYouTube動画も参照できます。



手厚い電話サポートや動画解説など特典が充実

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ ピボットテーブルを使ったデータ分析、分析結果の共有などを行いたい方
- ・ データベースから有用な情報を抽出したい方
- ・ データ処理を効率化したい方
- ・ パワーピボット、パワークエリを学びたい方

■書誌情報



書名：できるExcelピボットテーブル Office 2021/2019/2016 & Microsoft 365対応

著者：門脇香奈子&できるシリーズ編集部

発売日：2022年9月14日（水）

ページ数：336ページ

サイズ：B5変型判

定価：2,530円（本体2,300円＋税10%）

電子版価格：2,530円（本体2,300円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01514-7

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295015148/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1122101056>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501514.jpg>

■目次

基本編

第1章 ピボットテーブルで効率よくデータを分析しよう

第2章 基本的な集計表を作ろう

第3章 表の項目を切り替えよう

第4章 集計方法を変えた表を作ろう

第5章 表を見やすく加工しよう

活用編

第6章 集計表をピボットグラフでグラフ化しよう

第7章 スライサーで集計対象を切り替えよう

第8章 ひとつ上のテクニックを試そう

第9章 複数のテーブルを集計しよう

第10章 パワーピボットを使いこなそう

第11章 パワークエリを使いこなそう

■著者プロフィール

門脇香奈子 (かどわき かなこ)

企業向けのパソコン研修の講師などを経験後、マイクロソフトで企業向けのサポート業務に従事。現在は、「チーム・モーション」でテクニカルライターとして活動中。主な著書に、『できるExcel ピボットテーブル Office 365/2019/2016/2013対応 データ集計・分析に役立つ本』『できるポケット Excelピボットテーブル 基本&活用マスターブック Office 365/2019/2016/2013対応』（以上、インプレス）などがある。

■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンにストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、刊行開始から25周年を迎え、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。